

## JRCの3つの実践目標の一つである「奉仕」を全校で取り組みました JRC “クリーンプロジェクト(地域清掃)” 12月16日(金)

第四中学校は“地域の学校”です。2学期もあと数日となった12月16日(金)、全校生徒による活動として“クリーンプロジェクト(地域清掃)”を行いました。全学年・全学級が清掃班に分かれて、本校周辺の割り当てられた区域のゴミを資源ごみや燃やすごみなどに分別しながら回収しました。感謝の言葉を掛けてくださる地域の方もいて、嬉しかったです。それが励みともなり、生徒たちも気概を持って取り組むことができました。



本校が長年、加盟してきた青少年赤十字(JRC)は、1922年に滋賀県の小学校で日本最初の青少年赤十字が誕生してちょうど100周年となりました。そのJRCには3つの実践目標があります。それは、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」です。人間は生きるために、健康であること、平和であること、人格と尊厳が尊重されることが必要であり、3つの実践目標にはこれらが盛り込まれています。特に「奉仕」は、義務や強制でなく、社会の一員としての自覚に根ざした自発的な行動の大切さを示しています。今回の“クリーンプロジェクト(地域清掃)”は、日頃から様々な形で支援・協力いただいている、私たちの身近な社会=地域に対して、自分たちができることで貢献できる機会となりました。こうした「奉仕」の意味に気づき、考え、実行することで、第四中学校の“JRC活動”というバトンを意味あるものとして繋いでいってほしいと思います。

